

神経障害性疼痛と治療について

最近、テレビCM等で取り上げられている「**神経障害性疼痛**」を耳にされたことはありますか？**神経障害性疼痛**とは、様々な原因によって、神経が**異常な興奮**をすることで起こる**痛み**で、代表的なものには、**坐骨神経痛**や**頸椎症**、**帯状疱疹後神経痛**、**糖尿病神経障害**による**痛み**、**しびれ**などがあります。そこで今回は、**神経障害性疼痛**の概要と治療についてお話しします。

「痛み」とは、私たちが身体に何らかの異常や異変が生じていることに気づくための**重要な役割**を持ち、体温、呼吸、脈拍、血圧と並んで、私たちが生きていることを示す“サイン（バイタルサイン）”とも言われています。

しかし、必要以上に長く続く痛みや、原因がわからない痛みは、大きなストレスになり、不眠やうつ病など、ほかの病気を引き起こすきっかけにもなります。痛みは、原因によって大きく以下の3つに分けられます。

①**炎症や刺激による痛み（侵害受容性疼痛）**：ケガや火傷をしたときの痛み。ケガをした部分に炎症が起こり、痛みを起こす物質が発生し、末梢神経にある「**侵害受容器**」という部分を刺激することで痛みを感じる。（例：肩関節周囲炎（いわゆる五十肩）や腱鞘炎、関節リウマチ、頭痛、歯痛、打撲、切り傷など）

②**神経が障害されることで起こる痛み（神経障害性疼痛）**：何らかの原因により神経が障害されることで起こる痛み。（例：帯状疱疹が治った後の長引く痛み、糖尿病の合併症に伴う痛みやしびれ、坐骨神経痛、脳卒中や脊髄損傷による痛みなど）

③**心理・社会的な要因による痛み（心因性疼痛）**：眼に見える傷や炎症などはないが、不安や社会生活で受けるストレスなど、心理・社会的な要因で起こる痛み。

なかでも、**神経障害性疼痛**は、40代以上の方に多く、日本では約600万人以上の患者さんがいると推定されています。**神経障害性疼痛**の痛みは、「**ビリビリ**」「**ジンジン**」「**チクチク**」というように表現され、以下のような痛みがある場合には、**神経障害性疼痛**の可能性があるとされています。



○**神経障害性疼痛の具体的な症状**しびれの強い痛みがある、電気が走るような痛みがある、焼けるようなひりひりする痛みがある、針で刺されるような痛みがある、衣類が擦れたり、冷風に当たったりするだけで痛みが走る、痛みの部位の感覚が低下したり過敏になったりする、痛みの部位の皮膚がむくんだり赤や赤紫に変色したりするなど。

痛みの治療は、薬物療法が一般的でよく使用される薬剤をご紹介します。

<薬物療法> (カッコ内は当院採用の薬の商品名)

●**非ステロイド性消炎鎮痛薬 (NSAIDs)、アセトアミノフェン (ロキソプロフェン、セレコックス、ボルタレン、ポンタール等、カロナール)** : NSAIDsは、ステロイド以外の抗炎症作用、鎮痛作用、解熱作用を持つ薬剤の総称で、シクロオキシゲナーゼ(COX)という酵素を抑制して、痛みの原因である発痛物質(プロスタグランジン)の生成を抑えることで痛みを鎮めます。主な副作用としては胃腸障害や腎障害等に注意が必要です。また、アセトアミノフェンとは、世界的に広く使用されている解熱鎮痛薬であり、市販の風邪薬などにも主成分として配合されています。

●**神経障害性疼痛治療薬 (リリカ、サインバルタ)** : 神経の痛みの治療に使われる薬剤で、痛みを伝える物質(神経伝達物質)が過剰に放出されることを抑えることで痛みをやわらげます。主な副作用としては、眠気やめまい、ふらつきなどに注意が必要です。

上記の薬剤の他、**医療用麻薬 (オピオイド)、鎮痛補助薬 (抗うつ薬、抗てんかん薬、血管拡張薬、筋緊張弛緩薬、抗不整脈薬)、ステロイド、麻酔薬**などがあります。薬物療法では様々な薬剤を病態や症状に合わせて使い分けます。

<薬物療法以外の治療方法>薬物療法以外にも、**神経ブロック療法**(神経や神経の周辺に局所麻酔薬を注射して、痛みをなくす方法)、**理学療法**(運動、温熱、電気刺激療法等のリハビリテーション)、**認知行動療法**(痛みについての誤った認識を修正する認知療法と、痛みと行動の関係を知り、日常生活でできることを増やしていく行動療法を組み合わせた治療法)、**リエゾン療法**(整形外科や心療内科・精神科など、複数の医師が連携(リエゾン)して治療にあたり、心と体の両面から治療を行う方法で、薬物療法や運動療法と認知行動療法などを併せて行う)などの治療方法があります。

長引く痛みや原因の分からない痛みがある場合には我慢せずに早めに医療機関の受診をするようにしましょう。お薬のことでご不明な点やご不安な点がある場合には、医師又は薬剤師までご相談ください。